

青山大人(あおやまやまと) 県議会報告かわら版61号



平成 26 年 6 月 20 日発行 青山大人事務所 土浦市乙戸 801-2

電話 029-828-7011 FAX 029-828-7012 メール info@aoyamayamato.net

★フェイスブックでは、日常の活動やプライベートについて公開しております。また、メールにて、ファックス番号を送って頂ければ、毎月一回確実にお手元へ議会報告が届きます。

～青山大人(あおやま やまと)の略歴～

1979年土浦市生まれ。現在35歳。荒川沖小、土浦三中(陸上部主将)、土浦一高、慶応義塾大学経済学部卒。2006年12月に県議会議員初当選(当時、全国最年少の都道府県議会議員)。2010年12月の県議会議員選挙にて2期目当選。2008年1月に第21回日米青年政治指導者交流プログラム日本代表団に選抜される。街の活性化のため映画ロケを地元へ誘致するなど議会以外でも精力的な活動を展開。東日本大震災時は翌日から市内の水道復旧状況等をいち早くブログで情報発信し、一日での閲覧者が最大35000件を記録。また、福島県や宮城県への被災地支援活動が新聞等で大きく掲載される。現在、県議会土木委員会、予算特別委員会委員、土浦市消防団第27分団員(操法大会へ4度出場)。

●平成26年第2回県議会閉会

茨城県議会が6月17日に閉会しました。「県いじめ再調査委員会」設置条例案や山口副知事の再任人事案などを可決致しました。青山は担当する土木企業委員会において、

①平成25年度、平成24年度の公共事業の月別発注件数の推移を示しながら、8、9月が突出しているなど、極端な偏在が見られることから、工事発注について、早期執行も重要であるが、一年を通してある程度の平準化を求めることを示しました。

②新治地区とつくば市中心部を結ぶ藤沢荒川沖線の進捗状況と開通の見通しについては、現在、橋梁の床版工、取付道区間も含め舗装工を行っている。UR(都市再生機構)が施工している中根金田台地区の工事も残っているので、URと調整を進めている。URは今年度中に開通させたいと考えているので、県もそれに合わせるとのことです。

③神立駅西口地区の土地区画整理事業について、国からの交付金内示率が土浦市からの要望に比べ著しく低いため、予算確保のため県としても国にきちんと要望をしてほしい。

④住宅リフォーム助成を行う市町村が増えており、今年度は土浦市など18市町村で実施されている。市町村が主体の事業ですが、リフォーム助成は、住民はもちろん地元企業などに多くの波及効果があるため、県としても他の市町村に拡大するよう制度の拡大をお願いします。

また、通学路における安全対策の実施状況について、直近では対策必要箇所1,890箇所のうち1,634箇所が対策済みとなり、残りの256箇所についても対策予定との報告がありました。これからも市内の通学路における危険があれば学校やPTAを通して青山までご連絡ください。

●中小企業支援策活用ガイドブック

中小企業者の方々が茨城県や国等の中小企業支援策を活用される際に便利な手引書となるガイドブックを作成。今回の特徴は利用者のニーズに合った支援策を探しやすくするため、目次を「金融支援」や「経営支援」といった分類別としたほか、各施策の個別ページの冒頭に実際の利用場面をわかりやすく記載したものであります。

また、中小企業や小規模事業者の皆さまが取り組む試作品や新商品の開発や生産プロセスの改善、新しいサービス導入などを支援するための「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」の第2回公募が7月～8月に予定されております。第1回目は全国で7,396件の申請に対して、採択数が2,916件(茨城県は73件)と厳しい審査は当然ありますが、なかなかいい制度なので、第1回目公募で不採択となった企業も含めて、こういった制度をご活用頂ければと思います。

●改正国民投票法が成立

先日、国会では与野党合意の下、いわゆる国民投票法の改正案が成立しました。国民投票法の成立から7年を経て課題となっていた「選挙権年齢の18歳への引下げ」や「国民投票の対象拡大についての検討」などが整理されたようです。いずれにせよ、今回の改正によって、これまでのような憲法改正に関する国民投票が現実的に実施できない状態から、憲法改正の発議が可能になった以上、時の政府は、立憲主義と法治主義の原点に立ち返って、政治を進めていくことが大切であります。ふと立ち寄った本屋さんで「山本五十六について、じっくり考え、語り合うことはこれからの日本にとって極めて大切なことである」との帯に惹かれ、半藤一利さん著「山本五十六」を購入しました。半藤一利さんの本は「昭和史」以来ですが、やはり考えさせられます。